





こくさいは にほんじん ようせいの こうぎ  
**国際派日本人養成講座**  
 伊勢雅臣

2017年4月23日版  
**地球史探訪**  
**ベトナム独立運動を**  
**扶けた日本人**

ベトナム独立に共鳴する日本人の支援を受けて、  
**300名に及ぶ留学生が日本で学んだ。**

**1. 両陛下を大歓迎した**  
**ベトナム国民**

本年2月28日から3月6日にわたって、両陛下が初めてベトナムを訪問された。

ベトナムでは空港から約16キロの宿舎まで、ほぼ途切れることなく沿道で地元住民が両陛下を出迎え、日本国内各地へのご訪問と遜色ない光景が見られた。【1】

このファン・ボイ・チャウはフランスからの独立を目指して、日露戦争に勝利した日本に学ぶ「東遊運動」を始め、一時は300名もの留学生を日本に呼び寄せて独立の志士として育てた人物である。その過程で朝野の日本人が親身になって彼らの世話をし、運動を支援した。

**2. 「全生涯をかけて革命運動にこの身を捧げる」**

見えない一隻の船が「浅羽病院」のある海岸に着いた。(中略) 船には、大きな魚鱗が乗っていた。中から風采たならぬ人物が出てきた。(注: この海岸は、神奈川県前村町(現在は神奈川県小田原市)の海岸。集まってきた漁師たちは話しかけても通じない。筆談もだめ。この村でいちはん偉いのは浅羽先生だ。先生の所行は何かとかなるだろうと。)【2, P78】

ベトナムの人々がこれほどまでに両陛下を歓迎したのも、そういう日越の歴史的な繋がりも役買っているだろう。本号ではファン・ボイ・チャウと彼を助けた日本人たちの足跡を追ってみたい。

**3. 「ベトナムは日本に学ぶべき」**

ファンは、フランスの傀儡となっていた阮朝13代バオ・ダイ帝を見限り、阮朝初代からの直系であることを目指した。同志を集めつつ、国際情勢を研究して、日本に着目した。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心をもてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいる兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。  
 (ニッケイ新聞編集部)

**4. 東遊(日本に学ぶ)運動の発端**

愛國の青少年の海外脱出の勇氣とそれを激励する指導者なくしては、救國運動は不成功になるに決まっている。貴下のなすべき急務とはまさにこのことである。思い切つての際、同志来日を勧誘したらどうであろうか。愛國心に富む我々日本人は、貴下およびその同志達を礼をもて迎える。【2, Page 6】

**6. ドンズー運動の終焉**

ファンはドンズー運動を拡大するために、檄を書いた。母国に一時帰国する留学生を持たせて、配布させた。「全国父老に敬告する」では学生の留学費用の援助を呼びかけ、「海外血書」では、「東洋の大国日本」においては「仁義あふれる対応」をせよと求めている。祖国ベトナムにおいては「牛馬鶏豚の家畜」と同様に扱われていると、フランスの統治を厳しく攻撃した。

**7. 浅羽佐喜太郎の義拳**

この前年、留学生の一人が街頭で行き倒れになっていたのを、通りかかると人が見つけ、応急手当をした。かなりの金額を手渡しして、名も告げずに立ち去った。という新聞報道があった。この紳士が浅羽佐喜太郎であり、助けられた留学生グエン・タイ・バツトは、この縁で浅羽家に書生として住み込み、同文書院に通った。

**8. 浅羽佐喜太郎の顕彰碑**

その後、ファンは大隈の紹介で、タイの王室の支援を受けてバンコク郊外に農場を作り、留学生たちを呼び集めて、独立運動の拠点とした。さらに1912年の孫文による辛亥革命の成功に刺激を受けて、在シナのベトナム人を集めてベトナム革命軍を組織するが、袁世凱が権力を握ると逮捕されて、4年間も監禁された。



ファン・ボイ・チャウの記念館を訪れ、慰霊碑前で説明を受けられる天皇、皇后両陛下。左端はチャウの孫のカイトさん【共同】

静岡県浅羽町の「町史」の一節である。ファン・ボ

1904年、ロシアのバルチック艦隊がベトナムのカムラン湾に寄港し、その威容を見た人々は「こん

な凄く艦隊を日本がやつけることができるわけがない」と、ファンを疑った。しかし日本海海戦で日本が大勝利を上げると、ベトナム人同志たちは日本の力を再認識し、ファンへの評価と信頼も一気に高まった。

ファンは7月上旬、ベトナムに舞い戻り、日本での状況を説明した上で、9月末に横浜に再上陸した。この時は3名の学生を連れていた。また一行の後を追って、さらに6名が来日した。

その後、ファンはベトナムに戻ったファンはしばらく積極的な活動は控え、多くの著書を著した。1918(大正7)年には秘密裏に日本を訪れた。日本に残留している留学生たちと情報交換し、また大隈、犬養と会って、今後の活動の助言を受けることが目的だった。さらに浅羽佐喜太郎のお礼に向かったが、浅羽はすでに亡くなっていた。

ニッケイ新聞大人気シリーズ! 最新刊販売中!!

**日本文化**  
 CULTURA JAPONESA

日本という国の文化や思想、歴史を理解する上での最大の秘密、もっとも根本的な存在である「皇室」が今回のテーマ

天皇制度とその歴史、意義などについて、改めて知っておく必要はないか。本誌には今上陛下が早期退位のご意向を示された際のお言葉の全文や解説も収録。

子供たちの日本を見る目が変わる!!

お問い合わせ・販売 詳細はニッケイ新聞編集部まで ☎(11-3340-6060)、日暮書店でも販売中! 地方発送も出来ます!  
 太陽堂 (11-3208-6588) ファノマキ竹内書店 (11-3104-3399) 高野書店 (11-3209-3131) UNAMIYU SHOP SANTI ANDRE (11-4472-4523)

**国際派日本人養成講座**  
 発行人=伊勢雅臣 (文責)  
 Mail: ise.masaomi@gmail.com  
 Twitter: https://twitter.com/ise\_masaomi  
 無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/





**PwC Brasil**  
PwC Brasil  
PwC Brasil

## 連邦税務特別決済プログラム

- Programa Especial de Regularização Tributária (PERT)

連邦政府は、前年のように新しいプログラムを作成し、税務上の債務を最高175万ドルまで可能とし、罰金や罰金など一部の支払いについて、税務上の負債との相殺を可能とすると発表しました。

2017年5月31日に発行された暫定措置783号は、連邦税務上の債務を分割払いに関する特別決済プログラム(PERT)を公表しました。このプログラムによると、個人又は法人である納税者は2017年4月30日までの過去の税務上の債務について、前年までに含まれていた分割

分についても、税務局及び連邦司法官署に指定できるようになります。PERTの申請は、2017年8月31日までに行う必要があります。2017年4月30日時点で期限が切れるものは、税務当局へ債務金額及びFGTSを支払う必要があります。

企業にとつて、PERTの利点の一つは、税務上の繰越欠損金(CSLを含む)と同じグループ会社に支配されている会社、または、その他の既存の連邦クレジットを罰金や利息の支払いに充当することができる点です。

支払い方法	支払い残額	減額	
		ペナルティ	利息
最低20%は現金支払い、減額無し。	税務上の繰越欠損金(CSLを含む)または、その他の既存の連邦クレジットを罰金や利息の支払いに使用。残額については、60分割払いまで。	N/A	N/A
120ヶ月分割払い	a) 1年目: 毎月0.4% b) 2年目: 0.5% c) 3年目: 0.6% d) 4年目以降: 残額は84分割払いまで	N/A	N/A
最低20%は現金による支払い、減額は無し。残額は5分割払い(2017年8月から12月まで)。	a) 2018年1月に全額清算 b) 2018年1月から145分割払いまで c) 2018年1月から175分割払い。全債務額の175分の1を下回らない、前月の収益の1%に該当する金額。	90%	50%
		80%	40%
		50%	25%

総債務額が1500万レアルの場合は、税務上の繰越欠損金を罰金及び利息の支払いに充当することができません。

「ワシントン共同」トランプ米大統領の就任後、米国で政治の世界を政治に駆り立てるといって「トランプ効果」も作用しているようだ。

「タニエラ・フォー・コングレス(タニエラを議会に)をキーワードにして、ツイッターで発信しようよ。どんなメッセージが効果的かな」

6月下旬、首都ワシントンで開かれた女性政治家の育成イベント。厳し

第22回  
「米、政界目指す女性急増」  
「トランプ効果」じわり

783の本文を参照して下さい。  
お問い合わせ: claudio.yano@pwc.com  
この記事は、ブラジル

「トランプ効果」じわり  
米、政界目指す女性急増  
「ワシントン共同」トランプ米大統領の就任後、米国で政治の世界を政治に駆り立てるといって「トランプ効果」も作用しているようだ。

「タニエラ・フォー・コングレス(タニエラを議会に)をキーワードにして、ツイッターで発信しようよ。どんなメッセージが効果的かな」

6月下旬、首都ワシントンで開かれた女性政治家の育成イベント。厳し

## 来年日本祭り収支は1.2倍

### 6月度の県連代表者会議

ブラジル日本都道府県人会連合会(山田康夫会長)の6月度代表者会議が先月29日、聖市の文協ビル内の県連会議室で行われた。

5月度会計報告では17万4370レアルの収入、22万6646レアルの支出。ただし支出のうち7万4011レアルは今年開催の「第20回日本祭り」会場費の前払い金で、6月度をもって支払

「第20回日本祭り」全体の収支については、20万77レアルの赤字の見通しで、当日チケットの売り上げに左右されるとい

う。また、来年の「第21回日本祭り」の予算案が報告され、収入、支出共に419万6千レアル、出席者の賛成多数で承認された。支出は今年約1.2倍の金額で、来年は移民110周年の節目であることから、会場面積を今年の4万1千平米

から5千平米増やすことを見越した。

来年の「第48回移民の日」の「第48回移民の日」について、JTBグループの旅行代理店クイックリトラベル株式会社、元好進氏と大城エスラ氏から説明があった。行き先は米国ハワイで、来年3月7日から14日の予定。

来年はハワイ移民150周年とブラジル移民100周年の節目の年で、国を越えた日系社会の交

流が大きな目玉。ハワイ州は140万人の人口のうち30万人が日系人で、21の県人会が存在するといふ。また、現地9日から11日に開催される「第24回ホノルルフェスティバル」において、日本各地の祭りをはじめ、文化・芸能並びに武道・スポーツ、手芸などが楽しめる。

最後に山田会長から定款の改定が提議され、賛成多数で承認された。改定後には税金を免除し、福祉団体への支援に充てるためにルアーネ法などの



代表者会議の様子

国別別	議席数
1	アメリカ
2	ブラジル
3	ドイツ
4	イタリア
5	フランス
6	韓国
7	中国
8	日本
9	ロシア
10	インド
11	オーストラリア
12	カナダ
13	メキシコ
14	スペイン
15	ポルトガル
16	英国
17	スイス
18	オランダ
19	ベルギー
20	ギリシャ
21	台湾
22	韓国
23	中国
24	日本
25	ロシア
26	インド
27	オーストラリア
28	カナダ
29	メキシコ
30	スペイン
31	英国
32	スイス
33	オランダ
34	ベルギー
35	ギリシャ
36	台湾
37	韓国
38	中国
39	日本
40	ロシア
41	インド
42	オーストラリア
43	カナダ
44	メキシコ
45	スペイン
46	英国
47	スイス
48	オランダ
49	ベルギー
50	ギリシャ
51	台湾
52	韓国
53	中国
54	日本
55	ロシア
56	インド
57	オーストラリア
58	カナダ
59	メキシコ
60	スペイン
61	英国
62	スイス
63	オランダ
64	ベルギー
65	ギリシャ
66	台湾
67	韓国
68	中国
69	日本
70	ロシア
71	インド
72	オーストラリア
73	カナダ
74	メキシコ
75	スペイン
76	英国
77	スイス
78	オランダ
79	ベルギー
80	ギリシャ
81	台湾
82	韓国
83	中国
84	日本
85	ロシア
86	インド
87	オーストラリア
88	カナダ
89	メキシコ
90	スペイン
91	英国
92	スイス
93	オランダ
94	ベルギー
95	ギリシャ
96	台湾
97	韓国
98	中国
99	日本
100	ロシア

「共同」七夕にちなみ、大阪市中心部を流れる大川に発光ダイオード(LED)が入った約5万個の球を流すイベントが7日、開かれた。

水面にたゆたうLEDの川が見つめた。京阪電鉄天満橋駅近くの岸などから流されたLEDは、「いのちの星」と名付けられた。太陽電池とLEDが入った約1キロメートルの長さの流し入れは、西の空を青く彩った。

「トランプ効果」も作用しているようだ。

「タニエラ・フォー・コングレス(タニエラを議会に)をキーワードにして、ツイッターで発信しようよ。どんなメッセージが効果的かな」

6月下旬、首都ワシントンで開かれた女性政治家の育成イベント。厳し

集まった約60人の女子高生がグループに分かれて連邦下院議員の選挙運動を演習した。

候補者役のほか、広報戦略、政治資金調達などの担当を1人ずつ割り当て、真剣な議論を繰り広

## わが移民人生

おしどり米寿を迎えて

山城 勇

(20)

佐藤軍曹から聞かされた沖繩地上戦で生きとし生けるものすべからず玉砕したものと聞いていたが、どうして生きたらいいのか、その生命力・運命の尊さに熱いものが胸に込み上げた。一刻も早く家族に会いいたい思いに駆られた。そして戦後の故郷を見てみたいと考えようになつた。

そこで北海道行きを取り止めて故郷に目を向けるようになった。玉砕と云われながら半信半疑で揺れるながらも、皆が諦めていた帰郷への思いに駆り立てられた。「やつぱり家族の健在を確認しよう」と私は、生まれ古里に帰る手引書を始めた。

引揚げ船は佐世保から直行沖繩へ。アメリカ占領軍によって構築された中城村久崎の橋に上陸し、米兵達軍トラックに乗せられ身地別に分かれ、翌々日朝米の大戦で最も激しい戦終焉地とあつて鉄の暴風に焼きたくさされた岩ははだか出た。山岳を見るだけで、激戦の厳しさを知ることが出来た。

更にも多岐、三村合併させてもようやく一村が出来ると云う話で、おしどり夫婦が下車し、後は私一人となる。

**n kenko hirose**  
健康食品  
プロポリス・アガリクス専門店  
日本への発送もしております。  
Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo  
(ハロン・デ・イグアペ街とガルボン・フェノ街の角)  
Tel: (11) 3271-5608 - Fax: (11) 3271-5716  
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

プロポリス専門店  
**ムラサン健康食品**  
MURASAN PRODUTOS NATURAIS  
プロポリス 有名ブランド各種 電石けん アサイーベリー 健康食品その他  
Rua Galvão Bueno, 364 - box 3 - Liberdade - SP  
Tel./Fax: (11) 3207-4490 - www.murasankenko.com.br  
(日本への発送もしております)

**Shiatsu 指圧・整体・鍼灸**  
腰痛ヒザの痛み、首の痛み、  
坐骨神経の痛み  
Prof. Minoru Kohakura  
Tel: (11) 3262-0835  
Av. Paulista, 509 Sala 7 (メトロ・ブリガデイロ近く)

PERFUMARIA  
**TAKEO**  
化粧品専門  
たけお店  
二四九・九三三

病氣平癒・健康祈願  
**南米神宮**  
R. Estado de Israel, 76  
Vl. Clementino - S. Paulo - SP  
Fone: (11) 5575-4783  
www.templexointoista.org.br

**CLÍNICA MÉDICA ORIENTAL NAKATA**  
Admite-se estagiário(a)  
研修生募集中 (男女)  
寝ちがいが、首・肩・腕の痛み、腰痛、ギックリ腰、坐骨神経痛は  
**SADAKAZU NAKATA PhD**  
CIÊNCIAS ALIADAS DA SAÚDE  
TEL: (11) 5571-4113 / (11) 5083-6756  
Rua Baltazar Lisboa, 391 - CEP 04110-061 - V.Mariana - São Paulo - SP

**NEOVISIE Oftalmologia**  
**中野眼科** ブラジル眼科学会  
認定の眼科専門医  
5548-7802  
白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術  
CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER  
日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。  
Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana  
METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

補聴器専門店 **リベルターテ**  
補聴器を使ってるけど効果が良くない? 私達が解決致します!  
**ORIENT AUDIO**  
APARELHOS AUDITIVOS  
品質と適正な価格 (山本パトリア)  
CRFa 2 - 16125  
Tel.: (11) 3340-9190  
Rua Galvão Bueno, 412 cj.29 Liberdade  
Próximo ao Nikkey Palace Hotel



**IKESAKI**  
COSMÉTICOS  
池崎商会  
Variedade em Cosméticos e Perfumaria  
Rua Galvão Bueno, 37 Liberdade  
São Paulo - SP TEL: (11) 3346-6944  
[www.ikesaki.com.br](http://www.ikesaki.com.br)

VENDA em BANCA

# Nikkei Shimbun

ニッケイ新聞

AVENIDA PAULISTA, PARQUE IBIRAPUEIRA, SHOPPINGS E METRÔ

**O Matsubara Hotel**  
coloca o melhor de  
São Paulo à sua volta

Rua Coronel Oscar Porto, 836 - Paraíso - São Paulo

Reservas:  
11 3561.5000  
0800 771 7101  
[matsubarahotel.com.br](http://matsubarahotel.com.br)

**matsubara**  
HOTEL & CONVENTION CENTER

ANO XX - Nº 4791

SÃO PAULO, SÁBADO, 8 DE JULHO DE 2017

R\$ 4,00

**Coreia do Norte 05/07/2017**

## Líder supremo diz que lançamento do míssil foi 'presente' aos EUA

A Coreia do Norte diz que o seu primeiro lançamento experimental de um míssil balístico intercontinental, na terça-feira, comprovou a capacidade do país de fazer reingressar ogivas na atmosfera. Acrescentou que o lançamento-teste foi programado para ser "um presente de 4 de julho" para os Estados Unidos. O jornal Rodong Sinmun, do governante Partido dos Trabalhadores, publicou nesta quarta-feira longo artigo especial, de cinco páginas, com fotos, sobre o lançamento do míssil Hwasong-14.

Segundo a publicação, ao reingressar na atmosfera, a ogiva suportou condições muito adversas, como temperaturas de vários milhares de graus. O artigo diz que a ogiva não sofreu danos e funcionou normalmente. Afirma que o míssil é capaz de transportar uma grande e pesada ogiva nuclear desenvolvida recentemente. Diz que o teste de terça-feira comprovou a capacidade do propulsor de grande empuxo do primeiro estágio e de um novo propulsor de segundo estágio. Segundo o jornal, o líder

supremo norte-coreano, Kim Jong Un, declarou: "Os Estados Unidos devem estar insatisfeitos com o presente do Dia da Independência, mas a Coreia do Norte continuará a enviar com frequência pequenos e grandes presentes." Outra afirmação atribuída pelo jornal a Kim é de que Pyongyang nunca negociará o fim dos seus programas nuclear e de mísseis balísticos, enquanto Washington "mantiver a sua política hostil em relação à Coreia do Norte e continuar a ser uma ameaça nuclear".

**Eleição de Tóquio 03/07/2017**

## Comentário – Resultado da eleição para a assembleia de Tóquio e governo de Shinzo Abe

**Neste Comentário, o jornalista Masayo Nakajima, da NHK World, fala do impacto do resultado da eleição de domingo para a Assembleia Metropolitana de Tóquio sobre o governo do primeiro-ministro do Japão, Shinzo Abe.**

"Enquanto a governadora de Tóquio celebrava uma esmagadora vitória na eleição de domingo para a Assembleia Metropolitana, alguns parlamentares do Partido Liberal Democrático (PLD) indicavam, autoconfiantes, que o resultado deve ser considerado 'unicamente como de uma eleição regional' e que deve ser analisado separadamente da política nacional. Contudo, o primeiro-ministro, Shinzo Abe, encara com seriedade o resultado, ou seja, como indicação da grave insatisfação dos eleitores com o seu partido e afirma que o PLD deve refletir profundamente sobre o resultado. O descuido do seu governo ao não apresentar explicações suficientes sobre questões de alto interesse nacional e as declarações desencontradas da ministra da Defesa, Tomomi Inada, causaram em grande medida o pior desempenho do partido em eleições para a Assembleia Metropolitana. Outros parlamen-

tares do PLD manifestaram preocupação de que o resultado possa fazer com que se repita a situação de oito anos atrás. Referiam-se assim ao fato de, na época, o maior partido de oposição ter assumido o poder em consequência da impossibilidade de o PLD angariar apoio dos eleitores após uma derrota em eleição para a Assembleia Metropolitana. O governo procura recuperar o apoio da população de vários modos: realização de reforma ministerial, atribuição de prioridade à economia, ativa promoção de diplomacia e valorização das conquistas da administração. Mesmo assim, parlamentares sinalizam que o partido levará tempo para recuperar a confiança dos eleitores. Além disso, antecipa-se que o resultado da eleição de domingo afetará os esforços do primeiro-ministro, Shinzo Abe, para emendar a Constituição. Poderá revigorar a atuação do maior partido de oposição contra propostas

de emendas e também a contrariedade de políticos dos próprios partidos governistas que se mostram cautelosos em relação a emendas. É possível que venha a ser um momento de virada no atual cenário político, no qual desponta um todo-poderoso Abe, trazendo maior fluidez ao panorama. Aproxima-se o fim do mandato do premiê, pois em menos de 18 meses deverá haver nova eleição para a Câmara Baixa. Se o primeiro-ministro for incapaz de recuperar o apoio dos eleitores ao seu partido e ao seu governo, haverá um aumento da preocupação do PLD com as chances de vencer a próxima eleição nacional tendo Abe na presidência do partido. Nesse caso, ganharão alento iniciativas de políticos do Partido Liberal Democrático para a escolha de um líder pós-Abe com a aproximação da eleição para presidente do PLD no segundo semestre de 2018."

**NHK WORLD**  
**RADIO JAPAN**

Estas notícias são produzidas pela  
NHK WORLD RÁDIO JAPÃO.  
[nhk.jp/portuguese](http://nhk.jp/portuguese)

## Assine o Jornal Nippak, o mais completo jornal da comunidade nikkei

**JORNAL NIPPAK**  
ANO 20 - Nº 202 - SÃO PAULO, 20 DE ABRIL DE 2017 - R\$ 4,00

**Miss, cosplay, shows... Confira os destaques do 20º Festival do Japão**

**Festival das Coreleiras espera cerca de 20 mil visitantes neste fim de semana**

**Vereador Aurélio Nomura entrega Título do Cidadão**

**Comissão do Paraná apresenta logo do Imin 110 e promete 'um grande evento'**

**IMIN 110**  
10 ANOS DE INSCRIÇÃO  
JAPONESA NO BRASIL

Informação com credibilidade. Política, cultura, entretenimento, esporte, lazer, noticiário da NHK e a mais completa cobertura dos eventos da comunidade nipo-brasileira.

Ligue e garanta sua assinatura  
:(11) 3340-6060  
Conheça também o nosso Portal. Acesse:  
[www.portalnikkei.com.br](http://www.portalnikkei.com.br)

**Declínio populacional 05/07/2017**

## População japonesa diminui pelo oitavo ano consecutivo

A população do Japão caiu pelo oitavo ano consecutivo. O Ministério do Interior e Telecomunicações disse que o número de japoneses vivendo no país em primeiro de janeiro foi superior a 125,58 milhões, representando uma queda de cerca de 300 mil em relação ao nível do ano anterior. A queda é a maior desde que registros destes dados tiveram início em 1968. A população do país chegou a

um máximo em 2009. A população caiu em relação a do ano de 2016 em 41 províncias do total de 47. A província mais ao norte do país, Hokkaido, teve a mais séria queda pelo quinto ano consecutivo. Sua população caiu em cerca de 33 mil. A população aumentou em Tóquio e cinco outras províncias. A capital marcou o seu vigésimo primeiro ano de aumento consecutivo, chegando a 13 milhões de habitantes.

Entretanto, a população de estrangeiros no país permaneceu em cerca de 2,32 milhões, um acréscimo de 150 mil em relação ao ano anterior. Este crescimento é o maior desde que dados relevantes começaram a ser mantidos em 2013. Os estrangeiros possuíam vistos que eram válidos por mais de 3 meses e foram registrados como residentes.

## Aplicativos gratuitos da NHK WORLD

TV em inglês em 24 horas

**NHK WORLD TV Live**

\*Para Android, iOS e Kindle Fire



**o Jeitinho no Japão**  
para os brasileiros

para os brasileiros  
フジテレビの  
ニッポンの  
文化  
R\$50